

妊娠女性の年齢と妊娠中の糖尿病の関係は？

Tagami *et al.* Advanced maternal age is a risk factor for both early and late gestational diabetes mellitus: The Japan Environment and Children's Study. *J Diabetes Investig.* 2025;16(4):735-743. doi: [10.1111/jdi.14400](https://doi.org/10.1111/jdi.14400)



【はじめに】

妊娠糖尿病は、周産期合併症の危険性ととともに、生まれた子どもが肥満や糖尿病になる可能性も増加させます。通常、妊娠糖尿病は妊娠24週以降の発症と定義されていますが、近年では妊娠24週未満の早期妊娠糖尿病と周産期の予後不良が関連していることが分かってきました。近年、出産年齢の上昇が複数の周産期合併症の危険性に関連していることが報告されています。そこで本研究では、母体年齢と妊娠早期および後期の妊娠糖尿病との関連を明らかにすることを目的としました。

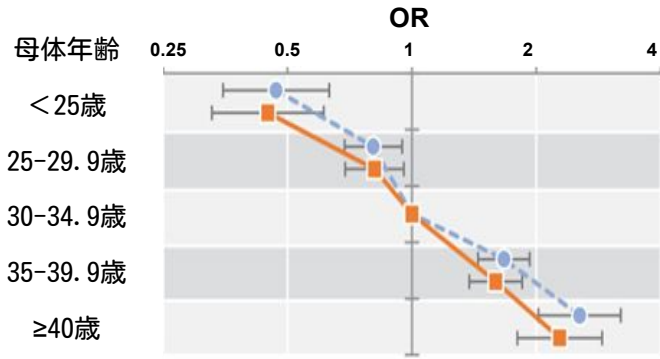
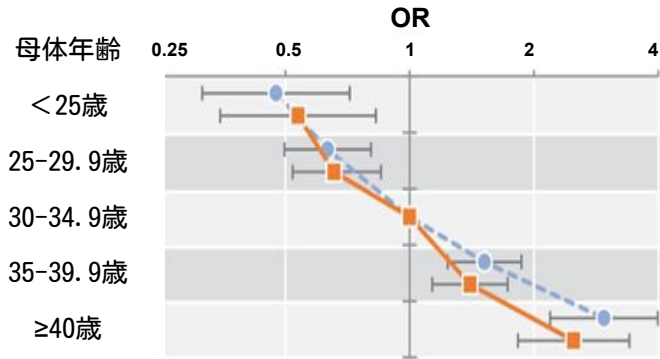
【調査項目】

72,270人の妊婦を解析対象とし、母体の年齢と早期（妊娠24週未満）および後期（妊娠24週以上）の妊娠糖尿病との関連性を統計学的に解析しました。

【結果】

早期(妊娠24週未満)妊娠糖尿病

後期(妊娠24週以上)妊娠糖尿病



グラフの横軸の数字はオッズ比(OR:Odds Ratio)^{※1}を、エラーバーは95% CI^{※2}を示します。グラフの線は解析モデル^{※3}ごとの結果（水色の破線はモデル1、オレンジ色の実線はモデル2）を示します。

※1 オッズ比：ある事象の起こりやすさを2つの群で比べたもので、数字が大きいほど事象が起こりやすいことを示します。この場合、事象は「妊娠糖尿病」を指します。

※2 95% CI：「同じ調査を100回繰り返したら、95回は真の平均値が含まれるだろう」という範囲です。この区間が狭いほど推定の精度が高いとされます。

※3 モデル1：粗い解析、モデル2：母親の出生時体重、BMI、病歴、生活習慣について調整した解析。

母親の年齢が高いほど、早期および後期妊娠糖尿病のオッズ比が高くなりました。また、早期か後期かの診断時期に関わらず、母親の年齢と妊娠糖尿病とのオッズ比はほぼ同程度でした。



【この調査でわかったこと】

妊娠糖尿病診断時の妊娠週数に関わらず、母体年齢が高いほど妊娠糖尿病のリスクが上昇することが分かりました。本研究の知見は、世界的な出産年齢の上昇傾向の中で、母親だけでなく子どもへの将来的な影響における問題を浮き彫りにするものです。